

大涅槃図開帳

長谷川等伯筆

本法寺の佛涅槃図は京都三大涅槃図のひとつに数えられ、その大きさは縦約10m横約6mにおよびます。作者は安土桃山時代から江戸初期を代表する絵師長谷川等伯（一五二九〜一六一〇）で、自身の家族や心を寄せた日蓮宗僧侶らを供養する目的で、六十一歳のときにこの絵を描き本法寺に奉献しました。能登国七尾に生まれた等伯は、染物を生業とする長谷川家の養子となり、故郷で絵師として活動しました。その後、養父母の死をきっかけに京都へ移り住み、菩提寺の本山であった本法寺を拠点に活躍し、数多くのすばらしい作品を残しました。



佛涅槃図 長谷川等伯筆

等伯の活動拠点・本法寺が直木賞作品 安部龍太郎著『等伯』（日本経済新聞社）に登場!!



鶏頭花図 伝銭舜举筆

春季特別寺宝展

公開予定寺宝

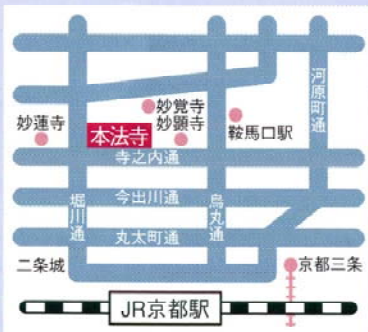
- 日蓮聖人真筆遺文
 - 日親上人受茶羅本尊
 - 金銅宝塔（寛性作 重要文化財）
 - 鶏頭花図（伝銭舜举筆 重要文化財）
 - 妙法尼（日通上人母）画像（無著僧植筆 重要文化財）
 - 常金（日通上人父）画像
 - 十六羅漢画像（明基墨）
 - 末法灯明記（日高上人筆）
 - 金網集（日通上人筆）
 - 元亨釈書（日通上人筆）
 - 親心本尊得意抄（本阿弥光悦筆）
 - 血書法華経（本阿弥光悦筆） 他
- ※公開する寺宝を変更する場合があります



十六羅漢図 明兆筆



金銅宝塔 寛性作



拝観料

大人	1,000円
中高生	600円
※小学生以下は無料	

交通

京都市営バス9系統、堀川寺ノ内バス停から徒歩3分
京都市営地下鉄烏丸線、鞍馬口駅から徒歩15分

京都 本法寺

京都市上京区小川通寺之内上ル本法寺前町617

☎075(441)7997 <http://eishouzan.honpouji.nichiren-shu.jp>

※休館日についてはお問い合わせ下さい

行事

◆涅槃会

三月 十四日(木) 十時

◆彼岸会

三月二十三日(土) 十四時

◆記念講演

三月二十三日(土) 十五時

「本法寺の歴史と『宝物』」

立正大学仏教学部教授

安中尚史

◆開山堂特別開帳

四月六日(土) 十四時